

科 目	急性期にある成人の看護				
時間数	1 単位 30 時間	授業方法	講義	授業時期	2 年
講師名	④湖城均 ③濱本光				
実務経験	③看護師(医療機関) ④医師(医療機関)				
ねらい	急性期にある成人の看護を学ぶ。 手術を受ける患者の看護を学ぶ。				
目 標	1. 突発的に発症し、生命の危機状況にある患者の特徴を理解する。 2. 手術を受ける患者の看護を理解する。 3. くも膜下出血の病態生理(原因・分類、症状、成り行き)、治療と患者の看護を理解する。				
授業計画					
回	内 容				
1～3	急性期にある患者の特徴と看護の考えかた				
4～5	手術療法				
6～13	手術療法を必要とする患者の看護				
14～15	くも膜下出血をもつ患者の看護				
評価方法	その時間数の 3 分の 2 以上の出席者に限り受験資格を与える。 各講師が各々の担当領域について終講時に筆記試験を行った結果及び平素の学習状況を総合して 100 点満点で評価する。 60 点以上を及第点とする。				
教科書	別巻 臨床外科看護総論:医学書院 別巻 臨床外科看護各論:医学書院				